

シャローム



再び祈ると、天は雨を降らせ、
大地は実りをもたらしました。

(ヤコブの手紙 5章 18節)

2021年
夏号



画 五十嵐のぞみ

目次

— 出会い、つながり、一致する共同体 —

One Team Spirit 「一人一役」

司祭団紹介	・・・ 2 p	世界の教会「ミャンマー」	・・・ 10 p
教会委員紹介	・・・ 4 p	日本の教会「宣教協力体って何ぞや」	・・・ 11 p
財務報告	・・・ 6 p	日曜学校だより	・・・ 12 p
青年会若葉「僕らにできることを		年間テーマ	・・・ 13 p
始めてみました」	・・・ 9 p	教会の動き	・・・ 14 p

ビジュ神父様は、大きい人です。何が大きいかって、それは身体かな？ ハートかな？ 器かな？ 態度かな？ (笑) 皆さんの目に映る通りかと思えます。彼は、裏表がありません。みんなの前ではいい顔をして、裏で実は…ということがない、陰日向なく生きる神父様です。彼は、まっすぐです。良く言えば一本気、悪く言えば頑固かも知れません。人々の先頭に立つ人間には、ブレない部分をしっかり持つ、ということが大切ですが、彼はそれをよく体現して見せていると思えます。(荒田神父談)

ビジュ主任司祭
(ビジュ・キジャケール)

・ヨゼフ会、典礼奉仕者連絡会担当



祭団の顔ぶれ
願います！

父様方のそれぞれの素顔を
己紹介ではなく他己紹介
ふふふ、なるほど〜♪



ボスコ神父様はインドの南ケーララ州出身です。私は1987年小神学校に入った時に英語の先生だった彼と初めて会い、2年間一緒にいました。何でも前もって準備し、潔白で、完璧主義で努力家です。静かな性格の持ち主で、毎日のように、ミサの朗読の練習をして、祈りを大切にしています。早寝早起きし、ヨガを通して健康にも気を付けています。大学で英語を教え、退職して初めて教会での司牧です。(ビジュ神父談)

ボスコ助任司祭
(ボスコ・マニマラ)

・ヨゼフ会・マリア会上下連雀本町、御殿山ゆり地区担当



早くマスクはずしたいにあ〜

アンディ助任司祭
(アンディ・ファニ)

・日曜学校、青年会、マリア会久我山、さくら、善福寺地区担当



アンディ神父は いつもいろいろなことで助けてくれる親切な人です。私が困っているときに、どんなときでも時間を割いて私を助けてくれます。彼はとても若く力にあふれています。彼はその力を自分のためだけではなく、他の人のために使うことのできる人です。このことは、神言修道会の宣教師にとって、必要なことであり、生涯大切にすべきことなのです。これからも彼の活躍をお祈りします。(ボスコ神父談)

(ボスコ神父談)

ラディティア神父は、インドネシアのスラバヤ出身で、現在、上智大学で哲学を勉強しています。一生懸命勉強するかたわら、彼はゲームをしたりバスケットボールの試合を見るのが

司祭団紹介

荒田神父は神言修道会日本管区の若い司祭の一人です。彼は誰とでもすぐに仲良くなり、積極的に働くことができる人です。最近では、一緒に庭や菜園を手入れし、着任して間もないにもかかわらず、教会の仕事ではいつも一緒に働いています。彼は非常に責任感のある人で、吉祥寺教会の信者の方への奉仕に情熱を持っています。日本人として、彼はよく私に日本語や文化を教えてください。彼はまだ若い司祭ですが、これからさらに皆さんと共に活躍してくれると思います。

(アンディ神父談)

荒田啓示 助任司祭

・日曜学校、青年会、マリア会
井の頭、国分寺、松庵地区、
典礼奉仕者連絡会担当



ソリス 共住司祭 (ロベルト・ソリス)

おそろく5年前、来日したばかりの頃、初めてソリス神父に出会いました。フィリピンで生まれた彼は、現在ハイヤースタディ(神言会の会員の言葉で大学の教員になるための勉強のこと)で上智大学に派遣され、大学院生として哲学を研究しています。大変な勉強の中で、彼は毎日頑張っています。食事の時間、食卓にあるもので大好きなものといえば栄養物である玄米だそうです。健康のために彼も毎日散歩や運動をしています。やはり、勉強のためには健康が大事ですな！

(ラディティア神父談)



後藤文雄 共住司祭

後藤神父様と一緒に働くのは今が初めて。彼は日本の文化だけではなく、神言会のこと、宣教のこと、幅広い知識を持っていてので一緒に修道生活を送ることはとても勉強になります。大学の課題やレポート発表の準備をしている時も一緒にテキストを読んで下さったりしてお世話になっていきます。私のことを「ポブ」と呼んでいつも心にかけて下さり私にとってはお父さんのような存在です。口先だけではなく本当に人を「大切」(彼は「愛」という言葉は使いませんが)にしているところが彼の素晴らしいところだと思っています。(ソリス神父談)

2021年度 司 よろしくお

司祭館と一緒に暮らす神
「彼はこんな人」形式で自
してもらいました。

ラディティア 共住司祭

(ラディティア・クルニアティ)



大好きです。とても社交的で、ユーモアにあふれ、いつも笑い声が絶えません。彼は率先して助けを必要とする人に手を差し伸べてくれます。例えば、料理を作るのが好きで、時々、私たちに美味しいインドネシア料理を作ってくれます。皆さん、彼を見かけたら是非声をかけてください。(アンディ神父談)

公認YouTube配信スタート!



■青年会 若葉

僕らにできることを 始めてみました

青年会若葉では昨年から特別なミサの模様を動画投稿サイト(ユーチューブ)に公開する試みを始めました。

はじめは各自が持っているスマートフォンを使ってライブ配信しようとして計画したのですが、スマートフォンからのリアルタイムのライブ配信は種々の条件が整わず断念。そこでメンバー所有のノートパソコンとカメラ機材を使ってみようということに。

実際に撮影してみると音声の録音、画質などでさまざまな問題に直面し、躓くこともたびたびでした。さらにカメラと一緒に画面を切り替える操作も現状の機

器では出来ないことがわかり、動画撮影の難しさを実感しました。試行錯誤の末、専用のカメラとパソコンを使って聖堂の2階から見下ろすようにライブ配信を行い、祭壇の脇からスマートフォンで撮影した動画を後から編集して追加し、ミサの全体像と神父様の顔が見える場面の両方を見られる動画を投稿することにしました。

動画の制作はただ撮影するだけでなく、サムネイル(動画の看板のようなもの)や動画編集、公開のタイミングや教会のホームページとの兼ね合いなど考えなければならぬことがたくさんありました。しかしチャンネル登録者数が200人を超え、たくさんの方に視聴していただいていることはとても励みになります。感染予防のためのミサの規制や中止によって、ミサに来られない方々のため

の配信はとても意義あるものになると感じます。

撮影環境を良くするために他の教会の見学もしました。関口教会では撮影専用のパソコンを作って、リモコン操作で複数のカメラを動かして様々な角度からのライブ配信をされていました。撮影機材や撮影方法など、配信係の方からたくさんお話を聞いて勉強になりました。当初はミサの撮影のみに絞っていましたが、最近では後藤神父様の司祭叙階60周年インタビューやビジュ神父様の新年の挨拶とさまざまな動画作成に挑戦しています。

今後は、コロナの影響で教会に来られない方々のための配信を引き続き継続しながら、徐々に動画撮影の幅を広げ、視聴者の心の支えになるようなチャンネルを目指していきます。



聖堂の2階からの撮影。ライブ配信は真剣勝負。かっこいいぞ!



内陣脇から祭壇を撮るカメラも気を抜けません。これからもヨロシクです!



ミャンマー

民主化は私たちの願い

姉妹関係にあるミャンマーの教会に心を寄せましょう



東京大司教の紋章

すでに報道されている通り、ミャンマーでは2月に国軍によるクーデターが起こり、政情不安と軍政に反対する民衆への暴力的な弾圧が続いています。

実は、私たちの属する東京教区とミャンマーの教会には、深いご縁があることをご存じでしょうか。それが毎年11月の第3日曜日に、ミャンマーの教会への祈りと献金を呼び掛ける「ミャンマーデー」です。※

「ミャンマーデー」が定められた経緯については、ドイツ・ケルン教区と東京教区が結んでいる姉妹関係から先にお話ししましょう。第二次世界大戦後の傷跡が残る1954年、当時のケルン大司教は信徒に東京教区と友好関係を結び、援助を行うよう求めました。日本と同じ敗戦国であったドイツも懐事情は厳しく、疑問の声が上がりましたが、大司教はこう答えたそうです。「あるからと

か、余力があるから差し上げるのでは、福音の精神ではありません」。

それから25年後の1979年、東京教区はケルン教区から受けた戦後の援助に応えるかたちで、今度はミャンマーの教会の支援を始めました。当時、最も貧しい国の一つで、援助を必要としていたからです。ケルン教区と協力して不足していた神学校建設の支援を進め、この数年はミャンマーの神学生養成を支援。2020年2月には菊地大司教が現地を訪問されています。

教区同士の絆は年々深まりつつありますが、日本には様々な思いを抱えて暮らすミャンマーの人たちがいることにも目を向けてください。外国人の自立サポートを行うカトリック東京国際センター(CITC)では、コロナ禍で仕事を失ったり、生活が苦しくなった方への食料支援活動を続けていますが、その支援を受

ける大半がミャンマーの方だといえます。困難な状況に置かれている上に、今回の政変で受ける苦しみはどれほどのものでしょうか。あるミャンマーの方は同センターのスタッフに、こんな思いを打ち明けたそうです。

「私たちは日本社会の中で不安定で低賃金・重労働に耐えながら、祖国のより良い未来を思い描いてきました。そのためにも、たくさんのことを犠牲にしてください。今回のクーデターは、その『より良い未来の夢』を叩き壊しました」。

クーデター以来、菊地大司教は「ミャンマーのためにお祈りください」と東京大司教区ホームページで繰り返し呼びかけておられます。首都圏に暮らす兄弟姉妹のためにも、どうぞお祈りと支援をお願いします。

参考 カトリック東京大司教区ホームページ
カトリック東京国際センター通信

※ミャンマーでは11月第3日曜日を東京デーとして祈ってくださっています

東京大司教区 信徒数
 ・教会(小教区)数=78
 ・宣教協力体の数=22
 ・信徒数=約20万人(約半数が外国籍)
 (2017年の推計)

東京都 ※離島を含む 千葉県

武蔵野南宣教協力体
 ☆荻窪教会
 ☆吉祥寺教会

■宣教協力体って何ぞや？ 教会の「親戚関係」 信仰の絆を大切に

支え合いましょう！



タルチシオ 菊地功 東京大司教

2001年6月、当時のペトロ岡田武夫大司教は、「新しい一歩——21世紀の福音宣教にむけての小教区再編成」というメッセージによって問題を提起され、そののち、かつて「ブロック」、へ地域協力体として活動していた小教区の連合を再編成して、「2003年の復活祭をもって宣教協力体を発足させる」と発表されました(「宣教協力体のための指針」2003年2月24日)。

「指針」の冒頭で岡田大司教は次のように述べられています。

「宣教協力体の目的は、聖堂共同体(小教区)同士がこれまでより深い協力関係を築き、教会がより豊かに福音的使命を生きる態勢を作ることです。宣

教協力体の課題は、司祭同士のチームワーク、司祭と信徒・修道者のチームワークを促進し、信徒が参加できる教会をつくっていくことです。」

COVID-19の蔓延によって教会の活動が制限を受けるようになるまで、武蔵野南宣教協力体は、年に3回、3教会の教会委員と主任司祭が集まり、それぞれの活動を報告しあう会合がありました。8月の平和旬間には、毎年協力体の独自企画として平和祈願ミサをささげ、同時に講演会などを開催して、3教会の信徒が集まり、ともに祈る機会を持つてきました。もともと、教区の平和祈願ミサが、千鳥ヶ淵の戦没者墓苑で行われていたところは、吉祥寺を出発して、荻窪、高円寺の教会を経由、麴町教

会に立ち寄って千鳥ヶ淵まで徒歩で行く、平和行進が行われていました。平和旬間にふさわしい行事であるとともに、他の教会の方々と交流するとても良い機会であつたと思います。

当初の方針では、「小教区の再編成」というところまで視野に入っており、発足から3年をめどに、組み合わせを見直すことも計画されてきました。しかし実際には、情報交換と合同イベントといった程度の活動にとどまっています。発足から18年も経つのに、こんな原稿を書かなければならない状況が、見込みが違ったことを示しているでしょう。

2020年12月に発表された「宣教司牧方針」の3つの柱の①「宣教する共同体への取り組みの一つに「もう一度、宣教協力体の意義と目的を明確にして、現状に見あった宣教協力体へと再編成していきます」とあります。

これまでのような活動ができなくなっている今、私たちの信仰と、それを表明し伝えることのよりどころとなる共同体、小教区・宣教協力体について考える機会としたいですね。

日曜学校だより

1・2年生 4月

【ご復活】

復活させたイエスは、40日のあいだ、弟子たちと一緒に暮らした。せいよは、復活のときで、ご復活を告げています。

イエスは復活の朝、弟子たちをさがして、お話をした。弟子たちは、イエスの話を聞いて、信じました。イエスは、復活の朝、弟子たちをさがして、お話をした。弟子たちは、イエスの話を聞いて、信じました。イエスは、復活の朝、弟子たちをさがして、お話をした。弟子たちは、イエスの話を聞いて、信じました。

イエスは復活の朝、弟子たちをさがして、お話をした。弟子たちは、イエスの話を聞いて、信じました。イエスは、復活の朝、弟子たちをさがして、お話をした。弟子たちは、イエスの話を聞いて、信じました。

イエスは復活の朝、弟子たちをさがして、お話をした。弟子たちは、イエスの話を聞いて、信じました。イエスは、復活の朝、弟子たちをさがして、お話をした。弟子たちは、イエスの話を聞いて、信じました。

イエスは復活の朝、弟子たちをさがして、お話をした。弟子たちは、イエスの話を聞いて、信じました。イエスは、復活の朝、弟子たちをさがして、お話をした。弟子たちは、イエスの話を聞いて、信じました。

イエスは復活の朝、弟子たちをさがして、お話をした。弟子たちは、イエスの話を聞いて、信じました。イエスは、復活の朝、弟子たちをさがして、お話をした。弟子たちは、イエスの話を聞いて、信じました。

1・2年生

4月 3・4年だより 4月

今月のテーマ **主の昇天**

主が昇天したのは、復活の朝、弟子たちをさがして、お話をした。弟子たちは、イエスの話を聞いて、信じました。イエスは、復活の朝、弟子たちをさがして、お話をした。弟子たちは、イエスの話を聞いて、信じました。

主が昇天したのは、復活の朝、弟子たちをさがして、お話をした。弟子たちは、イエスの話を聞いて、信じました。イエスは、復活の朝、弟子たちをさがして、お話をした。弟子たちは、イエスの話を聞いて、信じました。

主が昇天したのは、復活の朝、弟子たちをさがして、お話をした。弟子たちは、イエスの話を聞いて、信じました。イエスは、復活の朝、弟子たちをさがして、お話をした。弟子たちは、イエスの話を聞いて、信じました。

主が昇天したのは、復活の朝、弟子たちをさがして、お話をした。弟子たちは、イエスの話を聞いて、信じました。イエスは、復活の朝、弟子たちをさがして、お話をした。弟子たちは、イエスの話を聞いて、信じました。

3・4年生

今年度の日曜学校はアンディ神父様、荒田神父様が担当司祭です。

リーダーが毎月発行している日曜学校だよりと一緒にリーダーをご紹介します。サブリーダーは高校生、★印は学年代表リーダーです。

1年間よろしくお願いいたします。

日曜学校5・6年生 4月

2021年4月号

1月 1月号のまとめ

2月 2月号のまとめ

3月 3月号のまとめ

4月 4月号のまとめ

5月 5月号のまとめ

6月 6月号のまとめ

7月 7月号のまとめ

8月 8月号のまとめ

9月 9月号のまとめ

10月 10月号のまとめ

11月 11月号のまとめ

12月 12月号のまとめ

5・6年生

総務

中学生
星野神学生

必要な時にお手伝いのサポートリーダー

受験が終わったら復帰、受験生リーダー
3名

2021年度のテーマ
One Team Spirit「一人一役」
に寄せて

主任司祭 ビジューキシャケール

先日当教会の歴史を読むことがありました。それによると、1936年に吉祥寺での宣教が始まりました。当時の吉祥寺周辺の道は砂利道が多く、教会前の道は馬も走っていました。当時の教会の場所は駅から道を渡って少し離れたところで、1942年、高田寺教会の分教会となり、翌年に初めての洗礼式、堅信式が行われました。1948年に現在の土地を購入し、1954年には現在の聖堂が完成しました。そして1971年、敷地内に11階建てのマンションが建設され、1階から3階までを信徒会館、司祭館として使用する、日本でも有数の大きな教会になりました。このような恵まれた環境の中で、70年にわたって多くの司祭たちが福音宣教に励み、多くの信徒がこの教会を心のより

どころとして歩んできました。

しかし昨年2月末、日本でも新型コロナウイルスの感染が確認され、多くの施設で人の出入りや集会ができなくなり、教会でもミサを中止することになりました。私たちの信仰生活は一変したのです。ミサを再開したのはそれから4か月後の7月、年配の方々は9月から月1回のミサでの再開となりました。

ミサの参加については信徒全員にアンケートを取り、一人ずつ時間割りを決め、一人でも多くの方がミサに参加できるようにしました。

今までのように自由な時間にミサに行くことができず、多くの方々が戸惑ったことでしょう。そして、教会から離れてしまう信徒もいれば、何をすればいいかと迷う信徒もいるということに気が付きました。

私は、コロナ禍で信徒のために何ができるかと毎日考え続けました。信徒が「私たちの教会」として、今まで培ってきた伝統を大切にし、新しいことを取り入れながら司牧することが第一で、誰一人として取り残されてはいけないと考え、一斉メールを取り入れられたり、教会内外を整備しま

した。

「私たちの教会」という意識を具体化するために教会委員会と一緒に今年度は『One Team Spirit「一人一役」』というテーマを決めました。

神の民としての教会共同体は、お互いに助け合い、信仰によって神のみ旨を実現しようとする人々の集いです。第二バチカン公会議が教会を旅する教会、と言っていますが、私たちは神から出て神へ帰る旅をしていますので、旅先で、助け合わなければなりません。その土台は信徒の組織としてある小教区です。

パウロの「コリントの信徒への手紙一」6章15節に「キリストの体」という教えがあります。つまり、自分の体がキリストの体の一部なら教会もキリストの体の一部です。そこには、司牧者を支える信徒共同体があり、すべての人が一致団結して、キリストの働きを宣べ伝えていくのです。キリストの働きはすべての信徒が各々の力に依りて協力することで、具体化していくのです。教会には信徒の積極的な働きが必要です。共同体のために自分にできることをしていきましょう。

教会の動き

〈3月〉

1日 典礼奉仕者連絡会

連合委員会

年間目標、聖週間ミサ等

〈出席者〉ヨゼフ会、マリア会、日曜学

校、青年会、聖歌隊、教会委員長、副委

員長、典礼担当、行事担当、ブック神父

計13名

19日 マリア会定例会

〈4月〉

1日 聖木曜日

2日 聖金曜日

3日 復活徹夜祭

4日 復活の主日

典礼奉仕者連絡会

23日 三度目の緊急事態宣言発出

24日以降の主日ミサ、教会活動は全て

中止

〈5月〉

8日 教会委員会(オンライン)

洗礼、おめでとうございます

4月4日復活の主日に成人3名、幼児1名が洗礼のお恵みをいただきました。

フランチェスカ

私は幼少期から天から見守られている感覚がありました。宇宙や生命、生物がなぜ存在し、なぜ世界ができたのかなど考えることが多くありました。また、死について考えると恐ろしくなり、眠れない日などもありました。

4年前に夫はカトリック吉祥寺教会で洗礼を受けました。その頃から私もキリスト教について学ぶ機会が増え、夫と共に祈る日々が始まり、2年余りを過ごしました。祈りや聖書に触れる生活の中で、幼少期からの自分の疑問がすつと解けたような機会が訪れ、クリスチャンとして生きたいと願うようになりました。

洗礼を受けるまでの期間、講座で色々

なことを教えてくださった丹羽さんを始め、教会の皆様には感謝致します。



フィリップ マリア

50年前、日本人の指導を受けたとい日本空手協会を来訪された香港の実業家、郭志権氏との出会いが始まりでした。

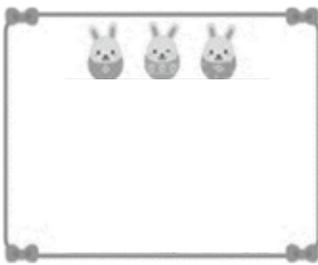
貿易会社での欧州勤務中、同協会国際業務を務めていた縁で親しくなった私にキリスト教への入信を勧めてくれたのも、事業の傍らYMCAのパトロンをされていた郭志権氏でした。

クリスチャンになるには「聖書を読みなさい」と、自己の学習・熟読具合を示すサン

ブルとして示された聖書は全ページ・全セ
ンテンスに赤い傍線が引いてありました。

妻庸子はカトリック系女学園を卒業後、
料理研究家、飯田深雪氏に師事し、助手
として随行中に先生が敬虔なクリスチャン
である事を知りました。郭志権氏の聖書の
傍線の話をした時、妻は「飯田先生も同じ
と。先生から戴いた『キリストにならう』
(ドン・ボスコ社1975年版)の原本が手
元に残っている事も判り、ともに赤線の書
き込みに導かれたようです。

数年前、郭氏に Tokyo Baptist
Churchを紹介してもらいましたが言語
面で、また雰囲気の間でも違和感を持つて
居りました所、丹羽真理恵先生の基本講
座を知り入会させて頂き、この度、洗礼式
を迎えることができました。



幼児洗礼
アッシジの
フランシスコ

司 祭 団 の 近 況



ビシユ神父 ある日、マスクをしていな
いと思ひ、捜して着いたら
既に頸に2枚着いていて
思わず笑ってしまいました。
マスク生活も長くなりました。



ボスコ神父 私の本当の誕生日は3月15
日。3月生まれでは4月か
ら学校に入れず、早く入学さ
せたかった両親が誕生日を11
月にしました。誕生日がいつ
であるとお祝いより祈りです。



アンディ神父 免許取り立ての頃、漢字
の標識が怖かった！ 今は
荻窪教会のミサやカトリッ
ク墓地にも車で出かけてい
ます。カール・シプランの
『預言者』『人の子イエス』を読書中。



ラディティア神父 秋田の教会やインド
ネシアにいた時は、信者さ
んと出かけたり、自宅に招か
れ食事したりしていました
が今は学業第一です。日本の
大学では自分で読み、発表することが多
くまだ言葉が100%ではないと思ってい
るので難しさを感じています。



荒田神父 中日の勝ち負けでその日の機
嫌が決まります。だから最近
は不機嫌な毎日です。



ソリス神父 学生生活を変わらず続けて
います。最近は中世哲学史に
はまっています。



後藤神父 先の見えないコロナ禍は
更に猛威をふるって拡大
しております。
この度は私もコロナ感染
の可能性ありということ
で隔離され、三日後によ
うやく陰性であることが判明いたしまし
た。医師に、再度肺炎を起こしたら事態は
重大なことになる、と宣告されました。
これからもコロナ感染の危険性は増大
すると思われまますので、更に慎重にならざ
るを得ません。みなさま方からいただくこ
心配にもおこたえできず、失礼をさせてい
ただいています。

コロナ終焉の暁には、みなさま方と歓談
することを期待いたしております。それま
でもうしばらく失礼をさせていただきます
です。おゆるしくたせ。

2021年度

キリスト教講座

曜日	時間	内容	担当者	対象	場所
日	10:30	キリスト教入門講座	瓜田講師	初心者・一般	1階・中ホール
火	10:30	新型コロナウイルス感染予防のため、しばらくの間全ての講座はお休みです。 再開する際は、ホームページ、ルアッハーなどでお知らせいたします。			
	10:30				
	19:30				
水	10:30	お知らせいたします。			
	19:30				
	19:30	キリスト教入門講座	フツク神父	初心者	2階・小ホール

◆ホームページのご案内

アドレス、QRコードが下記に変わりました。ホームページ上でもルアッハー、シャロームをご覧いただけますが、不特定多数の方が閲覧できることから個人情報等を削除して掲載しています。

◆5月の企画にご協力ありがとうございました

一つ目は聖母月に合わせて、庭のマリア様に一輪の花を捧げる企画。ビジュ神父の「みんな持ってきてくれるかな」との心配は杞憂に終わり、たくさんの方が捧げられました。二つ目は教会委員会の呼びかけによる、一緒にお祈りタイム企画。実際に集えなくても、神様への信仰でつながっていることを実感できるよう、毎日、18時になったら主の祈り、アヴェ・マリアの祈りを唱えるものです。祈りの力、共同体のつながりを感じながら過ごした緊急事態宣言下の5月でした。

◆「フードバンクおさし」にご協力お願いします

会館1階を使用して毎週火・土曜日10時から15時に食品の寄付を受け付けています。詳しくは
<https://www.facebook.com/foodbankmusas>
<https://www.facebook.com/foodbankmusas>
 hino/

◆教会からの毎月のお知らせ・予定はルアッハーをご覧ください。毎月第一日曜日に発行しています。どうぞお持ち帰りください。

◆シャローム次号は10月中旬発行予定です。何と次号は500号。
 (広報 T)

■ 売店と事務室の受付時間 (通常) ■

火、水、金、土、日 9:30~16:30

※ 定休日: 月、木曜日、祝日

(受付時間は、変わる場合があります)

■ ミサ時間案内 (通常) ■

主日: 8:30 / 10:00 / 11:30
 17:00

*第1 15:30 (英語)

第3 15:30 (英語又はタガログ語)

土曜: 17:00 (主日のミサ)

■ 教会報 シャローム ■ NO.499 2021年6月20日発行

カトリック吉祥寺教会 教会委員会 広報

〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山1-7-8

TEL 0422-44-0181/FAX 0422-44-0180 URL ▶ <https://svdtokyo.jp/>

教会維持献金振替口座 郵便振替: 口座番号/00120-1-106084

加入者名/カトリック吉祥寺教会

